

2. 「乗るなら飲まない」強い意志を持つ

飲酒運転は、命を脅かす極めて危険・悪質な犯罪です。年末は忘年会などにより飲酒の機会が増えますが「飲酒運転を絶対にしない、させない」という強い意志を持ち、飲酒運転を根絶しましょう。

▼年末の交通事故防止県民運動

- 期間 12月1日(水)～15日(水)
 スローガン 飲むあなた 飲ませたあなた 同じ罪
 重点3項目 子どもと高齢者の交通事故防止(特に横断歩行者の保護)、
 夕暮れ時と夜間の交通事故防止、飲酒運転の根絶

仲間と飲食店に行くときはハンドルキーパーを決める

市内では、1月から10月末までに飲酒運転による交通事故が11件起きています。仲間と自動車で飲食店に行く場合は、あらかじめハンドルキーパー(飲酒をせず仲間を自宅まで送り届ける人)を決めてください。ハンドルキーパーがない場合は、タクシーや運転代行業者を利用しましょう。



3. どうすれば交通事故はなくなるのか



▼少しの油断が悲惨な事故につながる

自動車や人で混雑する道路上では、わずかな違反や油断が交通事故につながります。自動車を運転する人全員が、自動車は命を脅かす危険な乗り物であることを十分に理解し、安全運転に努め「自動車を運転する責任と自覚」を忘れないようにしましょう。

▼交通事故を起こさないために

自動車・自転車・歩行者、それぞれの立場で私たち一人一人が交通安全の意識を持つことが大切です。横断歩道に歩行者がいる時は一時停止するなど、基本的なルールを守ることによって事故を未然に防げます。
 ※道路交通法で横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合、自動車は一時停止することが義務づけられています。

自動車

- 横断歩道に歩行者がいる時は必ず一時停止をする
- 運転中、携帯電話などの使用は厳禁
- ハンドルを握ったら運転に集中する
- 夕暮れ時や夜間は、自転車や歩行者の早期発見のためライトを早めに点灯
- 対向車や先行車がない場合は、こまめにライトを上向きに切り替える
- 自動車に乗ったら必ずシートベルトを着用する

歩行者

- 歩き慣れた道でも道路を横断する際は必ず横断歩道のあるところを渡る
- 道路を斜めに横断しない
- 歩きスマホなど「ながらスマホ」は絶対にしない
- 見通しの悪い交差点では、一度止まって左右の安全確認をする
- 子どもを連れて歩く時は保護者が車道側を歩き、子どもから目を離さないようにする

自転車

- 自転車は車道が原則、歩道は例外(自転車は軽車両)
- 車道は左側を通行する
- 歩道は歩行者優先、車道寄りを徐行
- 飲酒運転・2人乗り・並走や、傘を差しながら・スマホを使用しながらの運転は禁止
- 夜間はライトを点灯する
- 一時停止や安全確認を忘れずに
- 子どもはヘルメットを着用



黒い服装は目立ちません。白っぽい服装と反射材を!

夕暮れ時と夜間の注意点

- ・視認性の高い白っぽい服装を着用する
- ・反射材やライトを活用し、運転者に自分の存在を知らせる
- ・自動車との距離感や速度が分かりにくくなるため、横断時は昼間と比べて一層注意を

安全な自転車走行で、事故を防止しましょう

街頭で交通指導をしていると、スマホを持って自転車を運転している人を見かけることがあります。危険な運転は事故のもと。自分の運転を見直してください。
 ◎取手市交通安全推進指導隊…交通事故を防止するために、交通安全活動を推進。

取手市交通安全推進指導隊 隊長 倉持正男さん

反射材を身につけて 命を守るための行動を

夜間に黒い服装で歩いている人を見るとヒヤッとします。歩行者の皆さんは、明るい服と反射材を身につけ、自分の身を守りましょう。たすきが一番良いですね。
 ◎取手市交通安全母の会…子どもと高齢者を中心に交通安全の大切さを呼び掛けている。

取手市交通安全母の会 会長 鴻巣美智代さん

交通ルールを守り交通事故を未然に防ぎましょう